



## 受講生の声

■実習指導者講習会を受講して、今まで実習指導を行っている時のモヤモヤが自分の中で解消されました。教員が指導者に何を求めているのか、学生は指導者に何を望んでいるのかを理解でき今後に活かせると思いました。また、授業もわかりやすく、いろいろな施設の方とも情報交換できるのでとても有意義な時間となっています。

■実習指導者講習会を受ける前から実習指導者として携わっていましたが、その時は今までの経験と知識だけで指導を行っていました。今回、講習会を受講して、教育とは何かを学び、青年期の発達、教育心理学、看護理論、学校のカリキュラムなど、指導者として必要となる知識を学ぶことができました。そして、看護学実習指導論では、参加観察実習により実習指導者による教授活動の実際を見て学ぶことができます。これらの学習を通して確かな知識を持つことができ、指導者として自信をもち指導ができると思います。また、このような場でないに関わることのできない他病院の方々との交流も魅力の一つです。講習会で出会った仲間と相談や協力をしながら楽しく学ぶことができます。

■実習指導者講習会へ参加させていただく前から、看護学生への指導に少しでも関わらせていただいております。一日の行動計画に基づいた実習への指導や、カンファレンスなどへも参加させていただきましたが、どのような声かけをしたらいいのか、どのようにフィードバックをしたら効果的な動機づけができるのか、など実習という貴重な経験を無駄にはしたくないという気持ちもあり、悩むことがたびたびありました。講習会へ参加させていただき、看護学生のカリキュラムや規則など看護学の基礎といえる内容から、対象理解の方法や動機づけ、コーチングの方法など、看護学実習だけでなく看護のさまざまな場面で応用できる指導方法を学習することができました。講習会での学びを看護学生への指導だけでなく、職場のスタッフへも伝達し、より良い指導・学習環境を形成していきたいと考えました。

■実習指導者養成講習会を受講して、自身の指導者としてのあり方や、学生に与える影響の大きさを知りました。学生にとって良き指導者になりたいと思います。

■臨床の場に戻った時に指導者としてあるべき姿、自他共のメタ認知の程度、指導者や学生のレディネス、教員との協働など他のスタッフに教授、確認したいことが山盛りになりました。受講動機に書かせていただいたことはほぼ解決し、それ以上に実りある内容になっていたと感じています。

■今までの自分が行っていた実習への対応は、間違いではないが正確ではないことがわかりました。学生が実習目標を達成できるように関わって行くことを意識していきたいと思います。また、病棟スタッフにも今回の学びを共有し、協力を得て、病棟全体で学生にとって良い学びの場を提供したいです。

■実習指導者講習会に参加し、今までの指導方法がいかに自分本意であったことを知ることができました。現代の学生が抱えている問題や時代背景など、それらを踏まえて指導することの大切さや、学校教員の使命など、いかに教員と指導者で連携を図ることの大切さがわかりました。学生指導では、一つの枠にはめ込むのではなく、学生一人一人の個性を大切に、学生の学びたいことや、学校側の求めることを総合し判断しながら実習指導を行う必要性を感じました。これからは学生のロールモデルとなれるよう、日々自己研鑽をしていきたいと思います。実習指導者は、自身の看護観を示す場でもあるので、日々の看護を振り返りこれでよかったのか、と自問自答を繰り返し自己の成長につなげていきたいと思います。

■実習指導者講習会を受講し、多くの学びを得ました。慣れない座学に不安がありましたが、どの授業も学ぶ目的、目標が明確に示されていたため取り組みやすかったと思います。連続的な授業設定で大切なことは繰り返し出てきたので理解が深まりました。指導方法だけでなく、対象の理解や教育のあり方を学び、教育の楽しさを感じています。演習やグループワークが多く取り入れられており、他の方の意見や考えに触れ共有できることはとてもよい経験となりました。そして、普段は交流のない他病院の方と知り合えたことがとても嬉しかったです。同じ目的を持つ仲間と学び、過ごした時間はとても有意義な時間です。

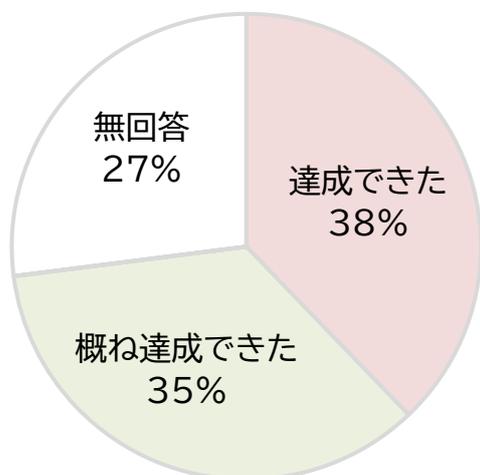
■実習指導者講習会で看護教育の基本を学んだことで、各学校の特色あるカリキュラムや青年期にある学生の背景等を改めて知ることができ、より一層学生に寄り添った指導に活かせると思いました。そして、看護学実習における教授技術を学び、実習指導の学修は必須な事だと気付かされました。また、心理学の先生の講義では、学生が主体的に学べるような働きかけの真髓の講義以外にも、先生のユーモア溢れる興味深いお話も聴くことができとても楽しく受講出来ました。グループワークを通して同じ悩みや想いを抱いている仲間に出会えて、みなで同じ方向を向き目標達成できるよう学習していく、貴重な経験をさせていただいています。



# 修了生の声

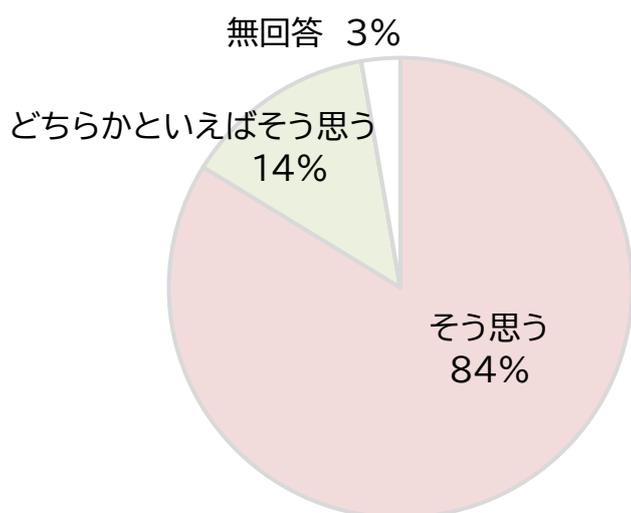
～ 令和5年度 講習会修了時アンケートより ～

## Q1 講習会の目標は達成できましたか

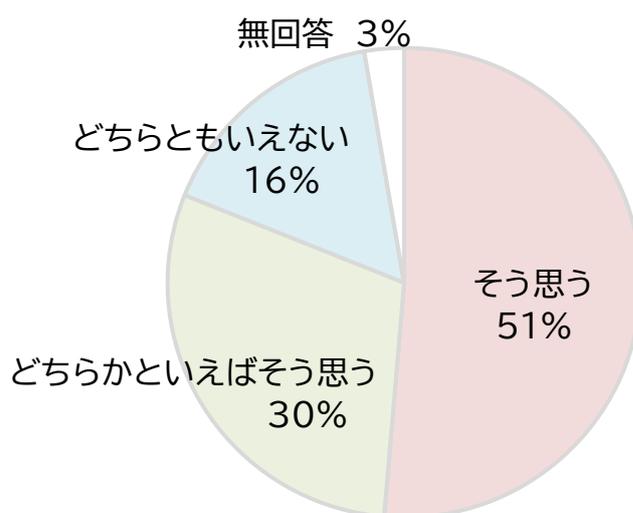


## Q2 講習会の内容についていかがでしたか

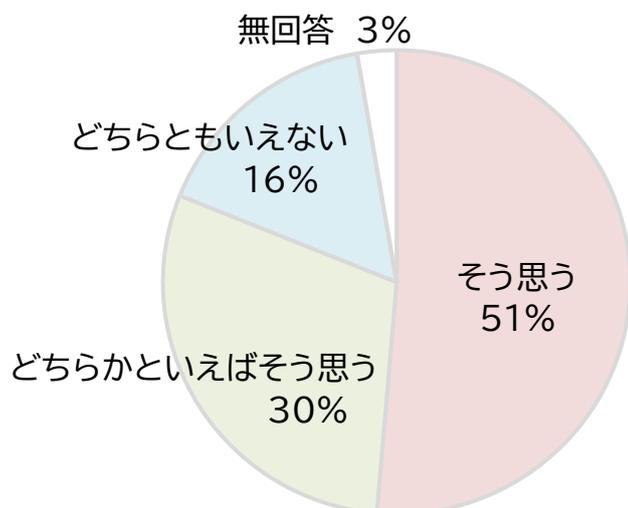
●学習目標が明確に設定されていた

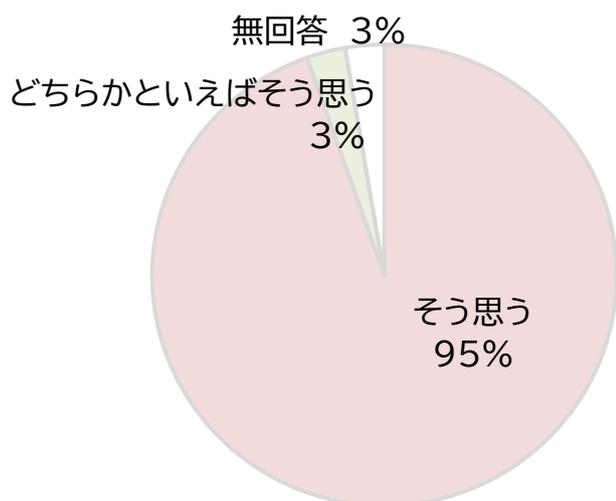


●コースの内容はよく整理、計画されていた



●コースの学習量は適切だった





### 受講生からの感想(一部抜粋)

- 教育学から始まり、徐々に実習指導に必要な科目へと移行されていて、段階的に理解できるようなカリキュラムだった。各授業につながりがあり、大事な内容は何度も講義に出てきて、とてもわかりやすかった。
- 臨床での参加観察実習では、実習指導者の実際の指導場面を観察できてよかった。指導場面を客観的に観察したことで、自己の課題にも気づけた。また、実際に実習を体験してみて、学生気分を味わい、緊張の中で学生が学んでいることの理解にもつながった。
- グループワークやロールプレイを通して、自分が学んだことだけでなく、他のメンバーの考えも共有することで学びを深めることができた。すぐ実践できることなので、学習したことを活用したい。ロールプレイが非常に楽しかった。
- 現在の学生の状況や実習指導における指導方法を学ぶことができ、実習指導者としてやるべきことが明確になった。教育が楽しいことに気づけた。



修了おめでとうございます。皆さんのこれからのご活躍を期待しています。